

さらに新しいカナモトへ

40th
ANNIVERSARY

kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiners

Report to the Shareholders

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



contents

- News Headline **2**
新基幹システムの名称はSHAZZAN
- 1st Quarterly Report 2004 **4**
第40期第1四半期業績の概況
- Column **5**
「レンタル」と「リース」の違いって何だろう？
- Check Point **6**
カナモトの環境への取り組み
- Line up **8**
取扱商品のご紹介
- Shareholders Q & A **10**
株主様からの質問に答えるQ & Aコーナー

vol. **27**
第40期第1四半期号

新基幹システムの名称は「SHAZZAN」



当社の新基幹システムは、UNIXをプラットフォームとした、ウェブベースのオープンシステムに再構築



当社で紹介された富士通「PRIMEPOWER」導入事例記事

カナモトでは、業務全般の一層の効率化を図るため、'01年からUNIXを用いた新システムへの移行を進めてきましたが、昨年末までに綿密な動作確認も完了し、本年1月、新基幹システムに完全移行いたしました。

この新システムの名称は、「SHAZZAN（シャザーン）。」十年前前に放送していた大魔王シャザーンというマンガの主人公の名前を拝借しました。マンガ同様、社員の困難な要求もちょちょいのちょいと実現してくれる頼れる存在という願いを込めた、夢のあるネーミングです。ちなみにトムとジェリーと原作者は同じなんですよ。

当社は、'78年に初めて電算機（パロース）を導入して以降、メインフレームベースの自社開発を基本にネットワーク化を推進し、'85年には他社に先駆けて全店オンラインネットワークを構築。その後も時代に即したメインフレームで基幹システムの拡充を行ってまいりました。

そしてこのたび、富士通株式会社の発行するミドルウェア季刊誌「Always True」と「PRIMEPOWER」の導入事例集で、当社の新システムSHAZZANが紹介されました。その内容は、同社ホームページでもご覧いただけます（<http://primeserver.fujitsu.com/>）。

今回、富士通様にご紹介いただいたのも、このシステムの製品の新しさに加え、設計、運用のさせ方が斬新

だということなんです。このSHAZZANのプラットフォームは、UNIXサーバのPRIMEPOWER。PRIMEPOWERを採用することによって、基幹システムをオープン化し、ウェブベースの運用であらゆる要求に柔軟に対処できるシステムを構築しました。これにより、信頼性が高く、同時に機能性、高速性も実現しました。これまでの汎用機を活用したメ

インフレームから、UNIXをプラットフォームとしたウェブベースのオープンシステムへ移行したことを高くご評価いただきました。

最先端に行くSHAZZANですが、当社では既に新しい機能を付加する計画を進めています。それは、GIS機能を利用したレンタル建機の所在認識システムを構築し、営業スタッフのモバイル端末にリアルタイム情報を提供するもので、レンタル資産の管理や盗難抑制にも大いに役立つものです。今後も時代に即応した機能を取り入れ、ユーザーの皆様にご高品質のサービスをお届けしてまいります。



ウェブベースのオープンシステムSHAZZANの利点を活かした、GIS機能も稼働

インターネットによる議決権行使の結果

本年で2回目となるインターネットによる議決権行使。今回の行使結果は、対総個数の比率では昨年同様の1.2%、事前行使いただいた方に占める割合は個数で3.1%、人数(社数)では5.1%でした。また、事前にインターネットで議決権を行使いただき、当日株主総会にご出席いただいた振替勘定分を含めると、今回のインターネットによる議決権行使状況は、対総個数で8.1%でありました。わずかずつではありますが、利用率が高まってきており、インターネットの利便性が

ここにも現れているようです。

インターネットを利用した議決権行使では、書面の場合と比べ、株主総会前日の深夜まで議決権の行使を行えるなどの利点もあります。

当社では今後もインターネットによる議決権行使を実施する予定です。手続きも至って簡単なうえ、セキュリティについても万全ですので、インターネットをご利用いただける株主様は、来年はぜひご利用ください。

株式会社カナモト四国を合併いたしました

当社はこのたび、当社子会社の株式会社カナモト四国('01年6月設立、本社：香川県高松市)を合併することとなりました。この4月からは、当社レンタル事業部近畿中部地区所属の高松営業所となり、四国の要所のひとつとして、営業を継続してまいります。

今回の合併は、現在当社が取り組んでおります新長期経営計画「メタモルフォーゼ」の一環として、顧客第一の営業体制の構築・強化を目的として行われるもので、この合併により、お客様のご要望にこれまで以上に迅速かつ柔軟な対応が可能となります。

当社グループはより高品質のサービスを目指して、今後も邁進してまいります。



旧カナモト四国本社は、当社「高松営業所」として引き続き営業してまいります

ツールレンタルの近況は...

昨年4月にホームセンター最大手の株式会社コメリと業務提携したツールレンタルの近況について、ご紹介いたしましょう。

異業種間の業務提携から1年、ツールレンタルコーナーの展開は、当初発表の「コメリパワー新津店」と「同河渡店」の2店舗と、拠点数には新たな動きはありませんでした。とはいえ、両店舗では個人ユーザーや、一般法人の方のご利用が思いのほか多く、これまでの実績を見ると、その需要は月を重ねるごとに確実なものになってきています。

コメリさんのネームバリューに加えて、「必要な時」に「必要なモノ」を「必要な数」だけ借りられるレンタル

システムの手軽さが、支持されているようです。

また、ツールレンタルにとどまらず、両店舗の敷地内で開催した小物機械や仮設ハウスの中古販売フェアも、お客様にご好評いただきました。

昨年8月には当社社長がコメリの^{さきげ}捧社長を表敬訪問。ツールレンタルによる両社のメリットを再確認し、ビジネスパートナーとしての結束を高めてまいりました。今後も両社の特長を活かしながら、お客様の多様なご要望に対応してまいります。

第40期第1四半期業績の概況 [2003(平成15)年11月1日から2004(平成16)年1月31日まで]

売上高(連結)成績

	売上高 (百万円)	前年比 (%)
第40期第1四半期	16,270	()
第39期第1四半期		()
(参考)第39期通期	63,686	

(注)平成15年10月期は四半期業績の開示を行っておりません。よって、前年同四半期増減率を示すパーセント表示の表記は省略しております。

[売上高に関する説明]

当第1四半期の日本経済は、鉄鋼、造船など中国の好景気に呼応する産業の海外需要がけん引役となり、また、民間設備投資にも一部で明るい兆しが出てくるなど回復基調を示しております。しかしながら、当社グループが属する建設業界においては、公共工事の削減、業者間の競争等々、依然として厳しい環境が続きました。

この環境に対応するため、当社グループでは、新長期経営計画『メタモルフォーゼ』に基づき、建設機械のレンタルでは、収益性の高い機種種の比率を高め

首都圏におけるカナモトの拠点展開 (印は2000年以降の新設拠点)



第40期の連結業績予想 [2004(平成16)年10月期]

	予想売上高 (百万円)	予想経常利益 (百万円)	予想当期 純利益 (百万円)	1株当たり予想 当期純利益
中間期	29,970	920	420	14円06銭
通期	59,590	1,450	580	19円42銭

つつ、建築・メンテナンス工事向けレンタルなどの新規市場開拓を強化するなど、グループ全体を通じてきめ細かな営業努力をしております。この結果、レンタル需要の旺盛な首都圏では新規出店効果もあって好調に推移しました。厳しさが続く地方においても、仮設機材や保安用品などを含めグループ全体による総合レンタル営業に注力したことや、一部では災害復旧工事があったことから、各地区で概ね順調な推移を示しております。

また、期初に計画したスクラップ&ビルドのうち、不採算店のスクラップを先行させ、北海道地区で2拠点、東北地区で1拠点の合計3拠点を閉鎖しました。以上により、当第1四半期の連結売上高は、期初の計画を上回る16,270百万円となりました。

[事業予想に関する定性的情報等]

当社の当該四半期における業績は概ね計画どおりに推移いたしましたことから、上記記載の業績予想は、前回公表のものには修正を加えておりません。また、業績予想については、当社を取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によつて、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。



このコーナーでは、カナモトの事業にまつわる話題を幅広く取り上げ、皆様にご紹介してまいります。

「レンタル」と「リース」の違いって何だろう？

カナモトの主力事業である建設機械の「レンタル」。皆様には、ビデオや自動車などでも馴染みの言葉でしょう。商品は違っても、サービス形態は基本的に同じです。日本では戦後、このレンタルビジネスが急速に発展しました。その理由はもちろん、さまざまなメリットがあるからです。そこで今回は、同じ意味で捉えられがちな「リース」などとの比較も交えながら、レンタルの利点をご紹介します。

レンタルとリースって同じじゃないの？

レンタルとリース、どちらも「賃貸借」を意味しますが「CDレンタル」とはいても「CDリース」とはいいませんよね。リースは、厳密には「ファイナンス・リース」といわれます。モノを買う資金をリース会社から借り、それを中長期にわたって、リース料という形で返済する方式で、融資を受けて金利手数料を支払うというイメージに近く、その名のとおり金融的な色合いが強いです。

これに対して、レンタルとは、ユーザーの目的に応じたモノを、必要な期間だけ、日単位で借りるシステムのことです。リースに比べて、融通が利き、ユーザー本位の利用が可能で、サービスとしての色合

いが強いといえるでしょう。

ちなみに、大型クレーン車など特殊な免許が必要なものについては、オペレータ付きの「チャーター」が一般的です。

レンタルを利用するメリットって？

レンタルは、ユーザーが「必要なモノを」「必要な時に」「必要な数だけ」確保できるという特長を持っているため、ユーザーにとってもさまざまなメリットがあります。ユーザー側から見たレンタルの主なメリットをご紹介します。

建機の購入代金などの設備投資費用を、最大限に軽減できます。

先進機能を搭載した最新機種を、いつでも調達・使用できます。

建機の保管場所を確保する費用・手間ともに一切不要です。

建機の維持管理などのメンテナンスは貸主がその一切を行います(オイル・消耗部品は除く)。

毎月の減価償却や固定資産税・保険料などの費用発生に伴う煩雑な経理処理が不要です。

当社の主な業務「レンタル」についてご理解を深めていただけたでしょうか？これからも、皆様に興味をもっていただける企画をご用意してまいります。

レンタルとファイナンス・リース、チャーターの特徴

	ファイナンス・リース	レンタル	チャーター
契約期間	長期(主に年単位)	短期(日単位)	短期(時間単位)
貸出対象	特定の借主	不特定多数	不特定多数
メンテナンス費用	借主側の負担(原則)	貸主側の負担	貸主側の負担
貸出側の在庫	不要	大量の在庫が必要	ごく少数でも可能
オペレータの有無	なし	なし	あり
主な取り扱い商品	電話、コピー機、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、航空機、タンカー etc.	ビデオ、CD、什器備品、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、仮設機材、土地・建物 etc.	飛行機、バス、ビル工事用大型クレーン、クレーン車 etc.

カナモトの環境への取り組み

カナモトでは、従前から環境負荷低減活動を推進し、小誌などを通じて皆様にご紹介してきました。今回は、こうした取り組みの実績をデータとしてご報告いたします。これからも、21世紀を生きる事業体として、生活者と地域、地球環境のためにできる最良の取り組みを模索しながら、環境経営を実践してまいります。

レンタル用機械を公害対策機に更新

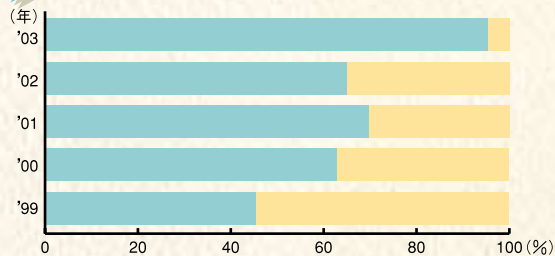
レンタルとは、ユーザー企業各社様がカナモトの保有する建機をタイムシェアしてご利用いただくもので、ユーザー各社様の設備投資の圧縮にとどまらず、貴重なエネルギー資源を有効活用するサービスです。いわば、レンタルビジネスそのものが、環境問題への回答のひとつかもしれません。とはいえ、せっかくレンタルをご利用いただい

ても、レンタルした機械が公害対策の施されていない機械ではユーザー企業様の環境経営を実現することはできません。カナモトの保有する建設機械は、実に約98%が公害対策済の最新鋭機です。今後とも万全のラインナップで、ユーザー企業様の環境経営の実現に向けたお手伝いをさせていただきます。

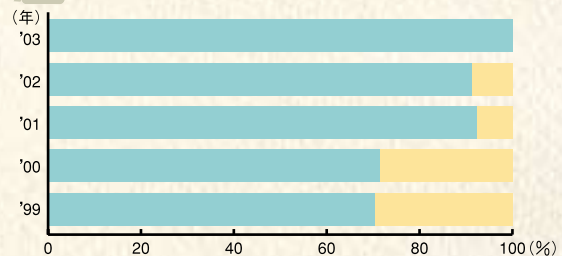
公害対策機の導入率



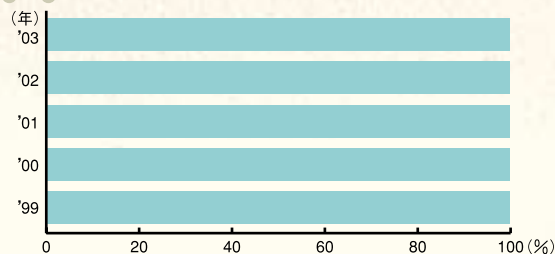
発電機



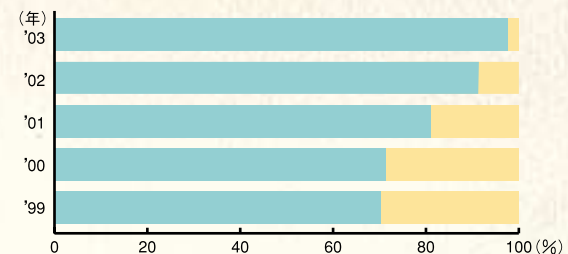
ミニショベル・油圧ショベル



レンタカー



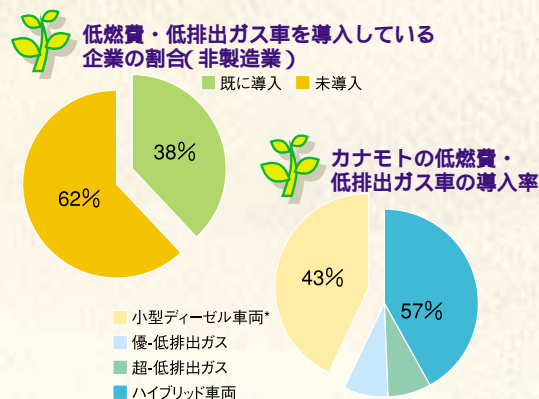
合計



営業車両における低燃費・低排出ガス車の導入

上場企業・有力企業の環境経営度を調査した資料(マスコミ系調査機関)によると、当社を含む非製造業の回答を寄せた350社中、低燃費・低排出ガス車を導入している企業は約38%、134社という結果でした。

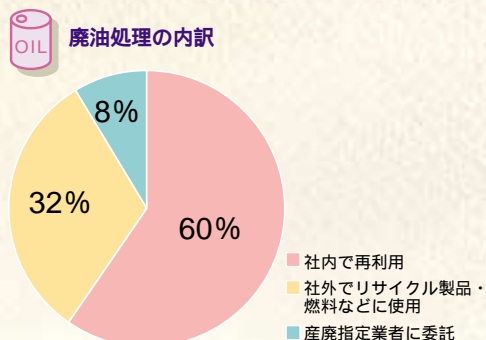
当社では、環境経営の一環として、他社に先駆けて '98年から営業用車両にハイブリッド車「トヨタ・プリウス」を採用し、現在までに200台を導入しています。また、これ以外の低排出ガス車の導入も積極的に行っており、直近の '03年では営業車両の約57%が環境に配慮した低燃費・低排出ガス車となっています。



*サービスカーなどに採用している車両のディーゼルエンジンには、新基準に準じたものではありません。

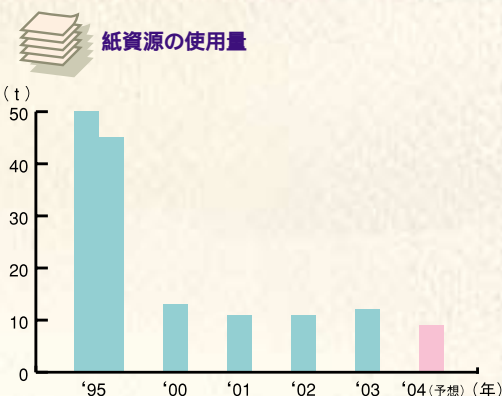
廃油の処理

カナモトの整備工場で回収される廃油のうち約6割が、ダイオキシン等を除去する無煙廃油ストーブで冬季間の暖房用燃料として再利用されています。これにより、空気汚染も最小限に抑えるだけでなく、廃油処理コストや新たな暖房用コストも削減しています。その他、約3割がリサイクル業者に再生油・リサイクル製品の原料として売却されており、廃油の約90%が環境にやさしい資源として有効活用されています。



紙資源対策への取り組み(ペーパーレス、リサイクル)

当社では、'00年までに法定帳票の電子化を完了し、'00年と5年前の '95年実績を比較するとコストでは1/3以下に、紙の使用量では年間約82tの省資源化を実現しています。'00年以降、拠点数、従業員数ともに増加しておりますが、社内文書や電子メールを多用するなど、省資源に努めた結果、使用量はほぼ横ばいで推移しております。今後については、'04年1月に稼動した新システムにより、一段の省資源化を推し進める計画です。なお、使用済みの紙資源については、契約再生紙工場で販促品としてリサイクル利用しています。



取扱商品のご紹介

常によりよい製品をユーザーの皆様にご提供することがカナモトの重要な使命です。今回は、当社の豊富な品揃えとバリエーションのなかから主要な取扱商品をご紹介します。

後方超小旋回油圧ショベル レンタル事業部

掘削作業やダンプカーへの土砂の積み込みなど、さまざまな建設現場で活躍する汎用性の高い建設機械です。なかでも、この後方超小旋回型は、車体(機体)分の幅があれば周囲に支障なく機体上部を回転させられるので、細い道など狭い現場で優れた作業性能を発揮します。



また、先端部のバケットは、作業に合わせて様々なアタッチメントに交換でき、家屋の解体等にも使用可能です。特に、コンピュータを搭載する最新鋭機は、熟練を要す細かな作業もジョイスティック(操作レバー)で簡単に操作できるようになっています。

水中ポンプ レンタル事業部

土木・建設工事を問わず幅広い現場で使用されているのが水中ポンプです。下部の網状の部分から工事排水を汲み上げ、上部の筒状の部分にホースを接続して工事排水を排出します。この吐出口の口径で2インチ～14インチまでさまざまなサイズがあります。また、高低差のある所から、例えば地下深くから水を汲み上げる場合には高揚車型、故障の原因となる砂や泥など異物が混入しやすいところには濁水型などの種類があります。



セルバック レンタル事業部

電子レンジを点けたら、電灯がうっすら暗くなったり、テレビがちらついたたり。皆様のご家庭でも、一度は体験されたことがおありでしょう。これは電気の使用容量を上回り、配電線の電圧が変動したために起きるフリッカ現象と呼ばれるもので、コンピュータなどがリセットされてしまうなどの被害が出てしまいます。

ご自身のお宅で起こっただけでも大変なのに、地域一体でフリッカ現象が起きてしまったら…。セルバックは、大容量の電力を使用する工場や建設現場で、フリッカ現象など電気にかかわるさまざまな悪影響を抑える機械です。見た目の派手さはありませんが、建設現場とその周辺地域の「電気を守る」重要な働きをしています。

ワークステーション 情報機器事業部

ワークステーションとは、パソコンよりも高性能なコンピュータで、技術計算・CADなどを使用する、技術者向けに開発されたコンピュータです。エンジニアやデザイナーが、設計やテレビや映画の編集でよく目にするコンピュータグラフィックスの開発に使われることが多く、なかでもサンマイクロシステムズ社の「SUN BLADE2000シリーズ」は最も引き合いを多くいただいている商品です。



Sun Blade™は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です



Sun Blade™ 2000

新商品

クレーン付トラック(ラジコン仕様) レンタル事業部

トラックにクレーンが付いている車両です。街中에서도よく見かけられるのではないのでしょうか？何が新しいのかと申しますと、クレーンの操作がラジコンで行えること。テレビもエアコンも今やリモコンが当たり前ですが、クレーンのラジコンは、天井クレーンや橋形クレーンなどの大型設備に限られていました。本体の操作盤に縛られることなく、ラジコンで操作をしながら、荷物の上げ下げを確認できるため、「作業の省力化・安全性向上につながる」とユーザーに人気の商品です。



ウォーターサーバー レンタル事業部

おいしい・安全な水を気軽に飲みたい。そんなニーズにお応えするのが、このウォーターサーバーです。使用する水は日本百名水のひとつ、羊蹄のふきだし湧水。北海道の秀峰・羊蹄山(別名：蝦夷富士)の雪解け水が70～80年の歳月を経て、1日に7～8万トンも湧出する京極町の自慢のひとつです。

この天然湧水を超精密濾過・殺菌装置によって完全無菌処理をして、おいしいまろやかな軟水のまま、お届けします。サーバー本体の使い方も100Vの電源があれば至って簡単。あとはウォータータンクをセットするだけで、冷水とお湯が供給されます。水道を引けない現場事務所や、普通のご家庭でも簡単にご使用いただけます。詳細は、お近くのカナモト営業所までお問い合わせください。



ミニチュア建機&ぜんまいトラックをプレゼント!

今回ご紹介した商品のうち、メーカーからご提供いただいた各社のオリジナルノベルティ(油圧ショベルのミニチュアモデル、ぜんまいで動くクレーン付トラック)を、抽選でそれぞれ10名様に差し上げます。同封のアンケートはがきに、ご希望の品をご記入のうえ、ご返送ください。ご応募の締切は2004年4月30日(当日消印有効)です。当選の発表は賞品の発送を持って替えさせていただきます。なお、掲載の製品とは異なる場合がありますのでご了承ください。

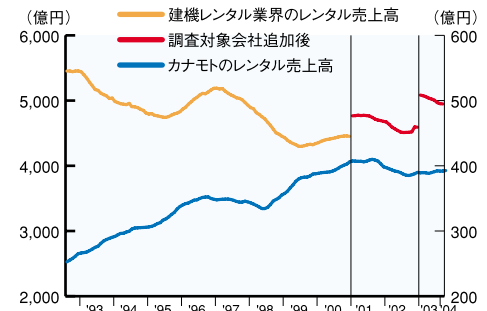
株主様からの質問に答えるQ & Aコーナー

Q レンタル業界におけるカナモトのシェアの推移は？

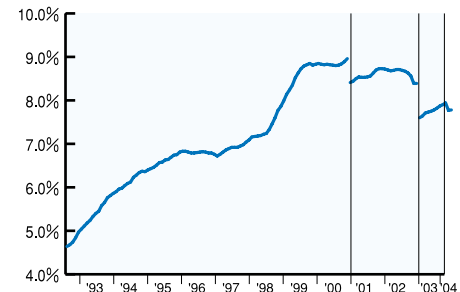
A 経済産業省で調査をしている「特定サービス産業動態速報」と「特定サービス産業実態調査報告書」というふたつの調査があり、その中の土木・建設機械レンタルの項目が建機レンタル業界全体の売上高とされています。上段のグラフは前述の動態速報を用いた12ヶ月移動累積値で、濃いブルーは当社のレンタル売上高、そして下段のグラフは当社のシェアになります。

上下のグラフを貫く線は、調査対象が拡大された時点を現したもので、そのために、業界全体の売上高は上り階段状に、そして当社のシェアは下り階段状になっています。残念ながら、経済産業省のデータも、動態速報と実態調査報告書では乖離が見られ、また、日本の全域を網羅したものではないことなど、これが建機レンタル業界の売上高の絶対値と断言できるものではありません。とはいえ、直近の当社のシェアは、ご覧のとおりトレンド的には右肩上がりの傾向を示しております。

建設機械レンタル売上高推移(12カ月移動累積値)



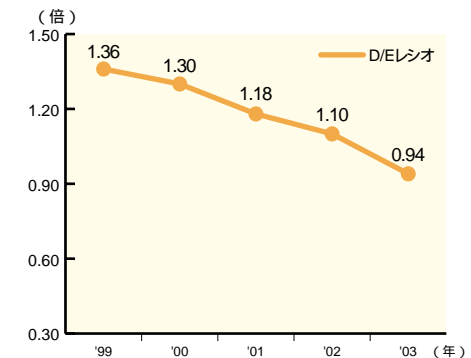
上記の動態統計速報を利用した当社シェア率



Q 「D/Eレシオ」という指標があると聞きましたが、カナモトのD/Eレシオはどのような状況にありますか？

A D/Eレシオ(デッド・エクイティ・レシオ=有利子負債・株主資本倍率)は、株主資本に対する有利子負債の割合を表すもので、財務の健全性を測る指標のひとつです。株主資本が充実するほど財務の安全性が高まり、D/Eレシオの数値は低くなります。当社の場合、建設機械レンタルが主力事業のため膨大な設備投資を必要とし、商社などと比較すると、有利子負債の比率は比較的大きなものとなります。そこで毎年、キャッシュフローの範囲内での設備投資を心掛けつつ、積極的に有利子負債の削減に努めた結果、グラフのとおり、D/Eレシオはこの数年で1倍未満になっています。

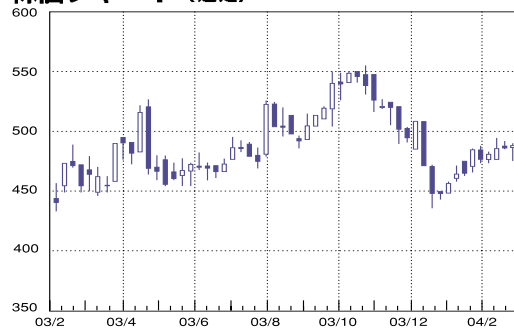
安全性指標の推移



当社事業や経営、財務に関するご質問がございましたら小誌同封のハガキで、
または<http://www.kanamoto.ne.jp/>の「Contact Us」から、お気軽にお問い合わせください。

株式・会社情報

株価チャート(週足)



役員一覧(2004年3月1日現在)

取締役

代表取締役社長	金本 寛中
代表取締役副社長 管理本部管掌	鷲田 秀光
取締役常務執行役員 営業統括本部長	佐藤 幸夫
取締役執行役員 総務部長 債権管理部・監査室管掌	金本 栄中
取締役執行役員 経理部長	卯辰 伸人
取締役執行役員 レンタル事業部長 近畿中部地区担当部長	金本 哲男
取締役執行役員 経営企画部長・秘書室長	成田 仁志
取締役	薩摩幸治郎
取締役	雑賀 忠夫
常勤監査役	奥村 敏三
常勤監査役	澤田 紳六
監査役	大西 清
監査役	橋本 昭夫

執行役員

営業統括本部付部長 鉄鋼事業部管掌	野宮 秀樹
レンタル事業部副事業部長 特販事業部・品質保証室長	平田 政一
事業開発部長	北方 敬一
情報システム部長	熊谷 浩
レンタル事業部東北地区担当部長	金本 龍男
債権管理部長 監査室長・法務室長	麻野 裕一

株価および売買高(東証分のみ。単位:円、出来高は千株)

	高値	安値	終値	出来高
2003年 2月	490	434	456	330
3月	494	447	484	327
4月	525	465	478	546
5月	479	455	472	284
6月	486	460	486	548
7月	503	470	503	516
8月	525	487	494	558
9月	550	494	540	582
10月	555	518	527	898
11月	527	491	496	368
12月	509	438	458	666
2003年 1月	488	460	478	365
2月	495	475	489	312

会社概要(2004年3月1日現在)

商号	株式会社 かなもと (英文 kanamoto co.,ltd.)
設立	1964年10月28日
資本金	85億9,673万円(払込済資本金)
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 札幌証券取引所
営業拠点	138カ所
本社	札幌市中央区大通東3丁目1番地19
発行株数	30,253千株(発行済株式総数)
決算期	毎年10月31日(年1回)
証券コード	9678
従業員数	1,097名(役員・嘱託・臨時雇員を除く)

編集後記

小誌本号は、いつもと雰囲気の違いはありますか？ そうなんです。広報課の若手2名をエグザミナーの“記者”としてデビューさせた次第。ペンを走らせキーを叩きと姿かたちはなかなかですが、何度も何度も書き直しをさせて、何とか読めるようになったものがコレです。ふう。暫くは素っ頓狂な言い回しが散見されるかも知れませんが、よろしくお願いたします。と書いたものの、これまでも皆様には、不肖高山の駄文をお読みいただいております。誠にありがとうございます。それに比べれば、まだ苦痛は少ないかと…。

さて話題は変わって、当社の新システムの名称“シャザーン”。古いマンガですから若い人達にはわからんだろうなと思いきや、意外や意外、知ってるんです。聞けばケーブルテレビで再々再々放送しているそうで、いいモノって息が長いんですね。エグザミナーも頑張らねば。と書きつつ、頭に浮かんでくるのは新造人間キャシャーンばかり。これも古いか。あゝ、勉強もせずにテレビばかり見ていたのがバレバレです。いかな。

ところで話題がもう一つ。当社のIRプレゼン資料がコンピュータ関連書籍で有名なインプレス社の書籍、「PowerPoint素材7000」(3月25日発行)に、実例の一つとして掲載されました。「勝ち組企業の実例」が掲載されているようで、当社のことか？などと、非常におこがましいことを考えてしまいました。いい例として掲載されているとは限りませんが、くれぐれもご内密に。それにしても、JAILからIR優秀企業で表彰いただいたプレゼン資料だと書いてくれていただければいいんだけどなあ…。(高山)



(東証一部・札証 証券コード: 9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel : (011) 209-1600 (大代表)

<http://www.kanamoto.co.jp>

Investor Information 株主メモ

決算日	毎年10月31日(年1回)	同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社証券代行部
株主総会	毎年1月中	郵便物送付先 および電話照会先	東京都豊島区西池袋1丁目7番7号 (〒171-8508) 三菱信託銀行株式会社証券代行部 電話 0120-707-696 (フリーダイヤル)
同総会議決権行使株主確定日	毎年10月31日	同取次所	三菱信託銀行株式会社全国各支店
利益配当金受領株主確定日	毎年10月31日		
中間配当金受領株主確定日	毎年4月30日		
公告掲載新聞	日本経済新聞		
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 (〒100-8212) 三菱信託銀行株式会社		